

## これまでの都市づくり

- 四季を通じて温暖な気候や海と緑豊かな丘陵等、恵まれた自然もあり、明治から昭和初期にかけて湘南の別荘地、保養地として発展
- その後、都心部への交通の利便性や恵まれた自然環境もあり、高度経済成長期に一気に住宅都市として発展し、人口も増加
- 茅ヶ崎市では、これらの背景をもとに「湘南の快適環境都市 ～みんなで作る住み続けたいまち ちがさき～」の実現に向けて、約24万人の住宅都市へ成長

## 茅ヶ崎らしさの確認

- ひとや社会に提案できる茅ヶ崎の価値「茅ヶ崎らしさ」とは何かを把握し、その要素を計画へ反映し、市民・事業者・行政が行う取組において踏まえるべき方向性や目標を示す。
- <H29年度実施の市民参加>
- 市民協議会 (H29.7実施)
  - ちがさきの都市づくりを考えるグループインタビュー (H29.8実施)
  - 転入者へのWebアンケート (H29.7～8実施)
- <その他>
- 市民満足度調査
  - 教えて！好きな場所での過ごし方
  - 自然、みどりに関するアンケート

## 社会情勢の変化を踏まえた国等の動き

- 人口減少、超高齢社会、大規模地震の切迫性、昼間人口の増加、働き方改革、厳しい財政状況など
- 立地適正化
  - 低炭素まちづくり
  - まち・ひと・しごと創生総合戦略
  - 国土強靱化
  - 生物多様性国家戦略
  - スマートウェルネスシティ構想
  - 持続可能な開発目標 (SDGs) など

## 茅ヶ崎のまちは・・・？

|   |  |
|---|--|
| <p>■良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 東京・横浜等が通勤圏</li> <li>✓ 温暖な気候や海と緑豊かな丘陵等、恵まれた自然</li> <li>✓ コンパクトで高密なまち</li> <li>✓ 広域的な交通ポテンシャルの向上</li> <li>✓ 湘南の魅力を感じられるライフスタイル など</li> </ul> | <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人口減少による労働力の減少や税収減少など都市活力への影響</li> <li>✓ 高齢化に伴う外出機会の減少</li> <li>✓ 空き家・未利用地の増加</li> <li>✓ 年齢階層別人口の偏り など</li> </ul> |
|---|--|

茅ヶ崎の特徴を人の目線から再確認

## 課題に対応した市の動き

- 茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (H28.3)
  - 【基本目標】
    - 茅ヶ崎の魅力を最大限に活かし、「ちがさき愛」あふれるひとを増やします
    - 若者からシニア世代まで、ライフスタイルと働き方を柔軟に選択できる環境をつくります
    - 地域全体で若い世代を応援し、安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくります
    - 豊富な「人財」がいきいきと活躍し、安心して住み続けられる環境をつくります
- 豊かな長寿社会に向けたまちづくり基本方針 (H27.2)
  - 【施策の柱】
    - 子どもを産み育てやすく子育て層が住みやすいまち
    - 高齢者が生きがいを持って活躍できるまち
    - 健やかな生活を営み住み続けることができるまち
  - 【支える基盤】
    - ソーシャルキャピタル（社会関係資本：人々のきずな、支え合い）の強化、醸成
- 茅ヶ崎市低炭素まちづくり計画 (H27.3)
  - 【将来像】
    - 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす
    - 高機能で環境負荷の少ないまちで暮らす
    - みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす

人々が抱く、茅ヶ崎らしさとは

歩きや自転車での移動が多いように、まち全体がコンパクトなため、自然、駅周辺、商店、住宅等の互いの距離が近いのが特徴的。時間等をそれほど気に掛けず、まちの要素を気軽に楽しめるのが茅ヶ崎の魅力。

「人とまちの距離がちょうどよい。」(案)

茅ヶ崎は都心からも近い、小さな街。この街に自然やお店など色々なものが詰め込まれている。1日あれば、茅ヶ崎のまるごとを味わえる。思えば、気軽に歩いて、ゆったりと過ごせるのが茅ヶ崎。

茅ヶ崎らしさ（特徴、価値）

## 基本理念

調査結果や社会状況を踏まえ、防災・防犯などまちの安全性を高めることは前提として、茅ヶ崎の時間を味わいたい方に、自然やまちの中で活動が行いやすい環境を整えていく。

【現在のまちづくり理念】

- 環境に配慮しながら、「心地良さ」、「利便性」、「安全・安心」の視点から、必要な都市機能を向上
- 「地域社会」へ配慮しながら、市民・事業者・行政の適切な役割分担と相互の連携による「協働都市づくり」の推進

【改定のポイント】

- 自然環境と都市機能がまとまった都市構造の形成
  - 自然環境、行政・商業業務機能等がある場所まで、徒歩・自転車や公共交通で行けるような都市とする
  - 行きたくなるような通りや場をつくる
- 楽しく、リラックスして過ごせる空間の創出
  - 公園や広場等、誰もが楽しく、リラックスして過ごせる屋外の空間が必要
  - 空間づくりとともに、その活用方を併せて推進
- 街なかの移動を楽しめる環境の形成
  - 徒歩や自転車で安全に移動することができる環境を整える
  - 民有地や通りなどに四季の移ろいを感じる花や木、魅力的なサインやストリートファニチャー等があると、移動の楽しみが増す

人々が、自然や街なかで活動しやすい環境を整えることで・・・

新たな出会い 体験 コミュニティ 発見 多世代交流 など が生まれ・・・

【効果】

- まちの賑わいが創出される
- 地域経済が元気になる
- 人々が健康的に暮らしている
- 生き生きと子育てしている
- 高齢者が生きがいをもってセカンドライフを楽しんでいる など

共有

## 育む

「茅ヶ崎」の特徴を「強み」とし、市民・事業者・行政で方向性を共有した都市づくり

## 将来都市像 「多世代が共生できる住みたい、住み続けたいまち」 ～みんなで育む やすらぎとにぎわいのある快適環境都市～

## めざすべき方向

- 多様な個性と自然と文化が共生する都市づくり
  - 豊かな自然環境やこれまで培ってきた文化を大切にするとともに、多様なライフスタイルが送れるようにする
  - みんなが共感する茅ヶ崎の魅力を向上させ、みんなに愛されるまちを継承する
- 地域や経済の活力が「茅ヶ崎」の魅力を育む都市づくり
  - 拠点における商業・業務・サービス機能の充実や、人が集まるにぎわいの場、商業・雇用の場づくりにより、持続的に人の流れや雇用を生み出すことで、地域や経済の活力を創出する
  - 住宅地においては、オープンスペース等を活用しながら地域における交流の場を創出していく
- 安全・安心、快適、便利な市民生活が実現できる都市づくり
  - 環境へのさらなる配慮とともに、みどりの多様な機能に着目することも重要（グリーンインフラストラクチャー）
  - 地震、水害、防犯対策対応
  - 公共交通網の確保とともに、歩行環境、自転車走行環境の整備を推進